

利 用 料 金 規 定 一 覧

(令和 5 年 1 0 月 1 日施行)

令和 5 年 1 0 月 1 日から施行します。

○相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例（抜粋）

（利用料金）

第 7 条 第 5 条第 1 項の規定により利用の承認を受けたもの(以下「利用者」という。)は、第 17 条の規定によりリフレッシュセンターの管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、リフレッシュセンターの利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の減免）

第 8 条 前条第 1 項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（利用料金の不還付）

第 9 条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表(第 7 条関係)

(1) 基本利用料金

区分	1 日(午前 9 時から午後 10 時まで)
ふれあいルーム 1	4,800 円
ふれあいルーム 2	4,500 円
研修室	2,400 円
調理実習室	2,700 円
会議室	1,600 円

(2) 加算利用料金

ア 利用者が商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用するときは、基本利用料金に 120 パーセントを乗じて得た額を加算する。ただし、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用し、かつ、入

場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を 1,000 円を超えて徴収するときは、基本利用料金に 150 パーセントを乗じて得た額を加算する。
イ アに規定する以外の場合で、利用者が入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。

1 人当たりの入場料等の最高額	率
300 円以下	30 パーセント
300 円を超え 1,000 円以下	80 パーセント
1,000 円超	130 パーセント

(3) 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金は、1 時間につき、当該利用に係る 1 日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加えた額)に 10 パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを 1 時間とみなす。

○相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例施行規則（抜粋）

（利用料金の後納）

第 11 条 条例第 7 条第 3 項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができ
る場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要が
あると認めた場合とする。この場合において、利用者は、指定管理者が指定する
期限までに利用料金を納付しなければならない。

（利用料金の減免）

第 12 条 条例第 8 条の規定による利用料金の減額又は免除は、次の各号に掲げる
場合に、当該各号に定める率により行う。

- （1） 構成員の過半数が 65 歳以上の者の団体(次号に掲げる団体を除く。)が利用
するとき。 50 パーセント
- （2） 市内の地域自治振興、教育振興又は社会福祉振興に関する公益性が高いと
認められる活動を行うことを目的とする団体がその目的のために利用すると
き。 100 パーセント
- （3） 指定管理者が条例第 22 条の規定により行う同条第 7 号の事業のため利用
するとき。 100 パーセント
- （4） 前 3 号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要であると認めた場合で、
市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減額又は免除を受けようとする利用者は、指定管
理者が別に定める方法により、指定管理者に減額又は免除の申請をするものとす
る。

（利用料金の還付）

第 13 条 条例第 9 条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲
げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- （1） 災害その他利用者の責めによらない理由により利用できなかったとき。
既納利用料金の 100 パーセント
- （2） 利用者が利用を開始する 30 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管
理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 80 パーセント
- （3） 利用者が利用を開始する 7 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管
理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 50 パーセント
- （4） 第 7 条第 2 項の規定により承認事項変更の承認を受け、既納利用料金が過
納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の 100 パーセント
- （5） 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承
認を得て指定管理者が定める率

2 前項第 2 号及び第 3 号に規定する期限の末日が休所日に当たるときは、その直
後の開所日を当該期限の末日とする。

3 前項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者
が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。